



2021年4月22日

各 位

東京都中野区本町一丁目32番2号
会社名 アクセルマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号: 3624 東証マザーズ)

ヘルスケア分野の新たな事業の開始及び 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2021年4月22日開催の取締役会において、新たな事業としてヘルスケア事業を開始すること及び第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下「本新株予約権付社債」といいます。）の資金使途を下記のとおり変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨及び本新株予約権付社債に関する資金使途の変更を行う理由

当社は、2021年3月26日公表の「第三者割当により発行される第2回無担保転換社債型新株予約権付社債（リファイナンス）および第23回新株予約権の募集に関するお知らせ」に記載のとおり、ヘルスケア分野、特にヘルスケアIoT市場の新規事業開発を検討しておりました。

株式会社グローバルインフォメーションによるとヘルスケアIoT市場は2025年にかけて21.0%の年間平均成長率で拡大すると予測（出典：「ヘルスケアIoTの世界市場（～2025年）：医療機器・システム&ソフトウェア・サービス・接続技術」）しており、持続的な成長が見込まれるヘルスケアIoT市場をターゲットにこれまで培ったIoT分野のノウハウおよびスマホアプリ開発の技術を活かしたサービス展開を行うことで、広告事業以外での収益事業を創出すべく、ヘルスケア分野における事業立ち上げを行うことといたしました。

また、当社は本新株予約権付社債および第23回新株予約権の割当予定先であるウィズ AIoT エボリューション ファンド投資事業有限責任組合およびTHE ケンコウ FUTURE 投資事業有限責任組合の業務執行組合員である株式会社ウィズ・パートナーズ（本店所在地：東京都港区、代表取締役社長：松村淳、以下「ウィズ・パートナーズ」といいます。）が投資するアクセリード株式会社（本店所在地：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：藤澤朋行、以下「アクセリード」といいます。）と分子診断領域において製品の評価及び国内流通を共同で推進していくことに合意しております。

今後、具体的な内容を定めた業務提携等の契約を締結した際には、適切なタイミングで開示を行ってまいります。

アクセリードは、ウィズ・パートナーズが業務執行組合員を務める投資ファンドが100%保有する持株会社で、傘下に武田薬品工業株式会社（本店所在地：大阪府大阪市、代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー）からスピニアウトした日本最大級の統合的創薬プラットフォーム企業である Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社（本店所在地：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：池浦義典）を持つ、医薬品・医療機器の研究開発から製造にわたるバリューチェーンを構築・拡大している企業グループです。

今後の事業展開としましては、国内のベンチャー企業や日本への商流を持たない海外ベンチャー企業の分子診断分野の有望な新規技術をアクセリードが技術評価し、日本市場での成長が期待される技術・製品について当社が国内事業化権の取得や適切な事業パートナーを開拓していくことで、両社共同によるバリューチェーンの構築を目指してまいります。

以上により、本新株予約権付社債の発行により得た資金については、ウィズ・パートナーズの支援のもと新規事業立上げを推進する検討を進めておりましたが、具体的な資金使途について協議が整ったため、資金使途の変更を実施することといたしました。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

当社がこれまでに培った、IoT 分野のノウハウおよびスマホアプリ開発の技術を活かし、POC (Point-of-Care) の分子診断機器そのものがインターネットに接続し IoT 化することで、診断結果がスマホアプリに表示されるサービス、分子診断分野の有望な技術・製品の国内事業化権を確保し権利を活用したサービス等を行う予定であります。

(2) 新たな事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

アクセリードとの協業のもとに主として国内外のベンチャー企業の分子診断分野の新規技術を評価し、その中で日本市場での成長が見込まれる有望な技術・製品の国内事業化権の獲得、出資・業務提携等を含むアライアンス展開に 300 百万円、事業展開を可能とするための体制構築、プロダクト開発等の事業開発費用に 100 百万円の支出を 2021 年 4 月から 2023 年 9 月までの期間で見込んでおります。なお、当該資金は、下記「3. 本新株予約権付社債に関する資金使途変更の内容」に記載のとおり、調達する資金の「②ヘルスケア分野の事業化権利獲得及び出資・業務提携に係る費用並びに事業開発費用」400 百万円から充当する予定です。

3. 本新株予約権付社債に関する資金使途変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。変更箇所には下線を付しております。

(変更前) (2021 年 3 月 26 日)

本新株予約権付社債

具体的な使途	金額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出(予定)時期
① 広告事業拡大における運転資金・システム投資など	143	—	2021 年 5 月～2023 年 9 月
② <u>ヘルスケア分野の新規事業</u>	400	—	<u>2021 年 5 月～2023 年 9 月</u>
合計	543	—	—

(変更後) (2021年4月22日)

本新株予約権付社債

具体的な用途	金額 (百万円)	充当額 (百万円)	支出(予定)時期
① 広告事業拡大における運転資金・システム投資など	143	—	2021年5月～2023年9月
② <u>ヘルスケア分野の事業化権利獲得及び出資・業務提携に係る費用並びに事業開発費用</u>	400	—	<u>2021年4月～2023年9月</u>
合計	543	—	—

① 広告事業拡大における運転資金・システム投資など

広告事業拡大における運転資金として 40 百万円を充当する予定です。また、広告事業の更なる事業拡大のための人員拡充、システム開発等を行うための体制強化に 103 百万円を充当する予定です。

② ヘルスケア分野の事業化権利獲得及び出資・業務提携に係る費用並びに事業開発費用

上記「2. 新たな事業の概要 (2)新たな事業の開始のために特別に支出する金額及び内容」に記載のとおりです。

4. 日程

取締役会決議日	2021年4月22日
事業開始日	2021年5月(予定)

5. 今後の見通し

本件における 2021 年 9 月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の見通しにおいて重大な影響があると判断された場合には、速やかに開示にてお知らせいたします。本件は中長期的に当社業績へ寄与するものと考えております。

以上